

オプトアウト

【研究課題名】 脊柱側弯症への手術治療に対するアンケート解析

【研究代表者氏名】 奈良県立医科大学 整形外科 重松 英樹

【研究機関の名称】 奈良県立医科大学

【研究機関の長】 奈良県立医科大学 学長 細井 裕司

【研究の概要】

この研究は奈良県立医科大学の医の倫理審査委員会で承認、学長許可を得ております。

研究対象者は、

2021年4月から2023年3月までに当院で手術治療を実施した特発性側弯症の児童の方が対象です。

研究の意義

側弯症の進行予防には現時点において装具治療のみ、その進行を抑制できるとされています。しかし、それでも側弯の悪化を認めた場合、我々は手術治療をお勧めしています。手術の主な目的は、1) 将来の側弯の悪化防止と2) 現在の見た目の改善であると考えています。ただ、同じように手術説明を実施してもその捉え方は患者さん、あるいはその家族さんごとに異なる可能性があります。手術前に、手術の決断理由やその不安を我々医療者が把握することは、適切な医療を提供するにあたり、役立つ情報だと考えています。

研究の目的

今回の調査は、手術を受けられる特発性側弯症の患児とその家族が考えている手術決断理由とその不安を明らかにすることは、今後手術を考えておられる患児とその家族にとって有用な情報と考えています。また、その情報は医療を提供する医師にとっても役立つ情報だと考えており、本研究を実施いたします。

アンケート調査の内容を検討する研究になりますので患者さんの安全性には問題ありません。

研究の方法

評価項目

年齢、性別、側弯の角度（Cobb角）、カーブタイプ、アンケート内容（手術の決断理由、手術への不安）の各項目です。

評価方法の概要

手術の決断理由とその不安を明らかにします。

個人情報の扱い

個人名はデータに含まれておりません。

学会発表および論文発表時は個人を特定できないようにいたします。

研究実施期間は、研究実施許可日（2024年4月1日）～2024年12月31日までです。

本研究では通常の診察のデータを使用するため、患者さんに新たに実施する負担が生じることはありません。

**【研究計画書および研究方法に関わる資料の入手・閲覧】**

研究計画書の入手・閲覧をご希望される研究対象者は相談先にご連絡ください。

他の研究対象者などの個人情報及び知的財産の保護などに支障がない範囲内に限り入手閲覧が可能になります。

ただし、入手閲覧の目的によっては入手・閲覧をお断りする場合があります。

研究方法については研究概要をご参照ください。

**【研究参加拒否機会の保証】**

個人のデータを使用してほしくない患者さんは以下に記載いたします相談先に連絡をください。

参加しなくても今後の診療などへ何ら不利益を生じることはありません。

**【研究体制】**

本研究は、奈良県立医科大学整形外科による単施設での研究です。

**【相談先】**

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 840 奈良県立医科大学 整形外科

重松 英樹

Email: [shideki@naramed-u.ac.jp](mailto:shideki@naramed-u.ac.jp) TEL: 0744-22-3051 (内 2324)